



2009～10 年度  
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

# Weekly Report Niigata



ロータリーの未来は  
あなたの手に

2009～2010 年度 国際ロータリーのテーマ



2009～10 年度  
新潟ロータリー会長

小林 敬直

新潟 RC 4 月第 4 例会 (2010.4.23) No.2846

(1) 国歌、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 物故会員への黙祷

(3) 小林 敬直会長挨拶

本日 茲に新潟 RC は創立 70 周年を迎え、創立以来 484 6 回目の例会を開催できますことは、まことに光譽なことであり望外の喜びとするところであります。新潟 RC は、1940 年 4 月 23 日東京 RC をスポンサークラブとして、ここイタリア軒で発足し、同年 5 月 29 日 RI より正式に加盟が承認され、29 名のチャーターメンバーで、日本で 36 番目のクラブとして発足いたしました。特別代表は、柏原孫左衛門さんでした。本日はその特別のご縁をもちまして、スポンサークラブの代表として、わざわざ東京ロータリークラブより柏原孫左衛門さんのお孫さんにあたる柏原和弘さんにお越し頂いております。柏原さんは現在東京 RC の幹事をなさっております。スポンサークラブである、東京 RC さんの特別のお心遣い、ご厚情に深く感謝申し上げます。洵にありがとうございます。創立以来 戦争の時期をはさみますが 70 年間の永きに亘り、新潟 RC は、地域への奉仕、国家への奉仕、そして世界への奉仕へと地道に絶えることなく奉仕の灯りをともし続けてまいりました。本日のこの 70 周年というめでたい日を迎えることができましたのも、ひとえに、今までクラブを支えてこられた多くのクラブメンバーを始め、多方面の関係者の皆様のお力添えがあったからこそ思っております。この場をお借りして、関係者皆様方の今まで頂いてまいりましたご厚情、ご支援に、本日改めて、深く感謝申し上げますとともに、引き続きのご厚情賜われます様、お願い申し上げます次第です。日本でのロータリークラブ創設の際、米山梅吉氏は、ポール・ハリスの「ロータリーの理想と友愛」の翻訳の中で「祖国に忠良なる臣民にして、職業を異にする実業人が広く友愛の主義によって結合し、まず その道德水準を高めて奉仕の精神を基調として合同し国際の親善、民族の平和に貢献する」と述べております。このロータリークラブの奉仕の理想のもと、新潟 RC は、この 70 周年を 1 つの節目とし、さらに大きく発展・飛躍してまいりたいと存じております。会員をはじめ関係者皆様方のさらなる、ご指導 ご支援をお願い申し上げご挨拶いたします。

(4) 来賓祝辞(代読 東京 RC 幹事 柏原 和弘君)

スポンサークラブ 東京 RC 会長 児玉 幸治君

新潟ロータリークラブが創立 70 周年をお迎えになられますことを、心よりお慶び申し上げます。

貴クラブが 1940 年 4 月 23 日に創立されるにあたり、私も東京ロータリークラブがスポンサークラブとして、またその際に柏原孫左衛門がお手伝いをさせていただきましたことを光榮に思います。本日は、その孫にあたります今年度幹事の柏原和弘を御祝いの席にお招きいただき感慨深く感謝申し上げます。

今、世界的に経済情勢は混迷しており、内外の諸情勢につきましても困難な課題が山積しておりますが、そうした中で奉仕の精神に貫かれたロータリーの活動はますます輝きを増すものと考えております。

また一方、ハイチやチリの大地震による災害も他人事ではありません。ここ新潟におきましても数度の地震災害がございましたが、全国からの支援を受けて、貴クラブを中心に復興活動に尽力されていることはロータリーならではの素晴らしい活動であると感銘を受けました。

貴クラブでは、70 周年事業として交通遺児を励ます活動や、長年続けておられる「ロータリー保育園」へのご奉仕など地域に密着し、地域のニーズにあったご活動をなさっております。私どものクラブも是非参考にさせていただきたいと思っております。

ロータリアン一人一人が率先して力を合わせて行動し、奉仕するためには、メンバー同士がまず知人として交わり、次いで友人へと交わりが深まることが肝要と考えます。この考え方が、一つのクラブの中に留まるのではなく、クラブの内外を問わず、広くロータリアン同士の暖かな友情の輪に広がるよう希望しております。

長い友人である貴クラブに、お祝詞を述べさせていただくことが出来るのも、先輩達の築かれた友情のたまものであり、今後もこの友情が絶えることなく、太い幹が茂るようにと願ってやみません。

これからも 70 年来の友人として交流させていただき、この友情が絶えることなく、ロータリー活動を通しての絆がより深まりますよう願っております。新潟ロータリークラブ創立 70 周年、誠におめでとうございます。

(5) 物故会員を偲び黙祷(敬称略)

鷲頭 直明 (2000. 10. 19)  
南 緑八郎 (2002. 11. 22)  
市田 文弘 (2003. 1. 4)  
小林 力三 (2006. 7. 9)  
永井 敏彦 (2009. 3. 31)  
堀井 欣一 (2010. 1. 27)

(6) 創立70周年記念事業発表並びに目録贈呈

1 交通遺児激励事業の実施

交通遺児及び家族を堀之内やな場での会食と雲洞  
庵見学のバスツアーに招待

実施日 平成21年9月12日(土)  
招待者 7家族13人

2 青少年育成支援事業の実施

新潟明訓高等学校インターアクトクラブが積極的  
に取り組んでいるラオス学校建設支援活動に協力

・寄贈先 新潟明訓高等学校インターアクトクラブ

・金 額 五拾万円

・ラオス学校建設支援活動とは

ラオスは最貧国であり、小学校の卒業は10～40%で識字も同様である。新潟明訓高等学校インターアクト部がボランティアとして「ラオス・スクールプロジェクト」の企画運営に参加、活動している。青少年育成支援金は明訓高校インターアクト部がボランティアで集めたお金と一緒に国際協力NGO日本民間交流センターラオス支部に送られラオス学校建設にあてられる。

・歴代幹事

|         |       |
|---------|-------|
| 1999～00 | 内山 清  |
| 2000～01 | 徳山 啓聖 |
| 2001～02 | 鈴木 滋弥 |
| 2002～03 | 小林 敬直 |
| 2003～04 | 佐藤 紳一 |
| 2004～05 | 斎藤庫之丞 |
| 2005～06 | 小林 敬直 |
| 2006～07 | 高橋 秀樹 |
| 2007～08 | 下岡 正八 |
| 2008～09 | 山田 隆一 |

・在籍40年以上

|       |
|-------|
| 新津 義雄 |
| 大谷 正雄 |
| 小林 亨  |
| 伴 昭彦  |

・100%出席25年以上

|     |        |
|-----|--------|
| 25年 | 高島 文治  |
| 26年 | 得永 哲史  |
| 26年 | 永野 勇   |
| 28年 | 石本 隆太郎 |
| 29年 | 敦井 栄一  |
| 30年 | 小山 楯夫  |
| 30年 | 加島 長作  |
| 31年 | 本間 彊   |
| 31年 | 田中 堅一郎 |
| 31年 | 小林 悟   |
| 33年 | 田村 貫次郎 |
| 34年 | 高橋 康隆  |
| 34年 | 福地 利明  |
| 37年 | 小林 亨   |
| 43年 | 大谷 正雄  |

(7) 感謝状並びに表彰状贈呈(敬称略)

- ・スポンサークラブ 東京 RC 会長 児玉 幸治
- ・スポンサークラブ 東京 RC 幹事 柏原 和弘
- ・1949年再発足功労者 新津 義男
- ・歴代ガバナー(除故人) 横山 芳郎(2004～05年)
- ・歴代会長

|         |        |
|---------|--------|
| 1999～00 | 小木 順一郎 |
| 2000～01 | 石本隆太郎  |
| 2001～02 | 田中堅一郎  |
| 2002～03 | 高橋 康隆  |
| 2003～04 | 鈴木 滋弥  |
| 2004～05 | 小林 悟   |
| 2005～06 | 塚田 正幸  |
| 2006～07 | 本間 彊   |
| 2007～08 | 徳山 啓聖  |
| 2008～09 | 柴田 史郎  |

・会員拡大功労者

|       |
|-------|
| 竹石 松次 |
| 小柳 実  |
| 小林 敬直 |
| 小島 国人 |
| 高橋 康隆 |

・事務局員(永年勤続)

|        |
|--------|
| 大倉 美智子 |
|--------|

(8) 会員スピーチ

「70周年に想うこと」 一回顧と展望

伴 昭彦実行委員長(プログラム、記念誌掲載)

(9) 本日の出席率 95.24 %

(2週間前メーク後 85.37 %)